

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	嚥下障害概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期	前期	教室名	
担 当 教 員	垣内 公允				
実務経験とその関連資格	経歴:言語聴覚士として、ケアミックス型病院、医療療養病棟、障がい者病棟、有料老人ホームに勤務。実務経験:11年 所属学会:言語聴覚士学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 関連資格:言語聴覚士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、LSVT LOUD® 認定療法士 学会発表: 「嚥下外来受診後、嚥下リハビリ入院にて3食経口摂取、気管カニューレの離脱が可能となった一症例」 第10回日本栄養嚥下理学療法学会学術大会 2024年 「医療療養病棟における”口から食べる”支援に向けた多職種連携の取り組みについて」 第8回日本栄養嚥下理学療法研究会学術大会 2023年 優秀賞受賞 「両側延髄梗塞,気管カニューレ抜管後,リハビリに干渉波低周波治療器Gentle Stim(GS)を併用し嚥下機能の改善が図れた一症例」 リハビリテーション・ケア合同研究大会 2018年				
《授業科目における学習内容》					
テキスト・講義資料に沿って嚥下のメカニズムや、解剖生理、神経について座学や体験を通じて学ぶ。 定期的な小テストを実施し、学習内容の確認、定着につなげる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験において60点以上の得点をもって合格とする。 定期試験に小テストの点数を加味する。 最終評価＝定期テスト(90%)+小テスト2回の平均(10%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
(教科書)言語聴覚士のための摂食・嚥下障害 医歯薬出版株式会社 その他適宜参考資料、ビデオ等					
《授業外における学習方法》					
教科書をよく読み、復習に努めること。 書籍、文献紹介、自主学習範囲内での課題提供、紹介などを適宜実施する。					
《履修に当たっての留意点》					
「口から食べる」ことは、生命維持に不可欠なもので、障害されると生活の質が著しく低下する。摂食嚥下に関する基本的な知識を習得し、言語聴覚士としてどのような支援をしていけるのかを考え、興味をもって学べるようにして欲しい。授業内容はしっかりと復習し、わからないところは質問してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の概要、口から食べることの大切さについて	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください	
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の概要、定義について 口から食べることの意味について理解する			
第2回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の解剖学的知識①	教科書 配布資料 (使用物品) ハサミ、のり	配布資料や教科書の復習を行ってください	
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下の解剖(鼻腔、口腔、舌)について理解する			
第3回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の解剖学的知識②	教科書 配布資料 (使用物品) ハサミ、のり	配布資料や教科書の復習を行ってください	
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下の解剖(喉頭・咽頭・舌骨、食道)について理解する			
第4回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の解剖学的知識③ 嚥下に関わる筋	教科書 配布資料 (使用物品) ハサミ、のり	配布資料や教科書の復習を行ってください	
	各コマにおける授業予定	嚥下に関わる筋肉(咀嚼筋、内喉頭筋、舌骨筋群等)について理解する			
第5回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下のメカニズム①	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください	
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下のメカニズムについて理解する 嚥下の神経機構、命令嚥下、自然嚥下、5期モデル、プロセスモデル			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下のメカニズム②誤嚥とその原因	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下のメカニズム、嚥下の加齢的变化、廃用症候群、誤嚥の分類について理解する。 前回までの内容の小テスト		
第7回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の神経①摂食嚥下に関わる神経支配	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下に関わる神経支配について理解する		
第8回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の神経②摂食嚥下に関わる神経支配	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下に関わる神経支配について理解する		
第9回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の病態と原因①	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	中枢疾患、認知症、高次脳機能による嚥下への影響について理解する 前回までの内容の小テスト		
第10回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の病態と原因②	教科書 スライド資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	神経筋疾患、器質性、気管切開の嚥下への影響について理解する		
第11回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害のアセスメント①	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の検査と診断、評価について理解する 情報収集、質問紙、MWST、RSST、FT等。		
第12回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害のアセスメント②	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	VE、VF、呼吸機能の評価について理解する		
第13回	授業を通じての到達目標	嚥下訓練の実際①（間接訓練・直接訓練、物理療法）	教科書 配布資料 （使用物品） 聴診器、紙コップ、スプーン、水やお茶	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	嚥下の間接訓練や直接訓練について体験を通じて理解する		
第14回	授業を通じての到達目標	嚥下訓練の実際②（食事姿勢調整、環境設定、食事介助）	教科書 配布資料 （使用物品） 聴診器、紙コップ、スプーン、水やお茶、車椅子	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	食事の環境設定や、食事介助方法について体験を通じて理解する 嚥下調整食について理解する		
第15回	授業を通じての到達目標	チームアプローチとまとめ	教科書 配布資料	配布資料や教科書の復習を行ってください
	各コマにおける授業予定	他職種連携チームアプローチ、栄養アセスメント、歯科、服薬、リスクマネジメントについて理解する まとめ		